

尼御前SAスマートIC社会実験の概要

(1) スマートIC社会実験の目的・内容

日本の高速道路が利用されにくい理由の一つに、隣接するICとICの距離が長いこと(平均約10km)が挙げられます。そこで、国土交通省では、既存の高速道路の有効活用や地域経済の活性化を推進するため、建設費や管理費を削減できるスマートIC(ETC専用IC)の導入を検討しています。

本実験は、一般道に容易に接続可能な既存のSA・PAにETC専用の仮設出入口を設置し、スマートIC運営上の課題等を把握するものです。



尼御前SAスマートIC社会実験の目的・内容

観光の利便性の拡大、高速自動車道の利用促進を把握

- ・加賀温泉郷及び周辺観光地の回遊ルート等、観光の利便の拡大を把握
- ・日常生活等における高速道路利用促進効果を把握

今後のスマートICの円滑な導入を図るため、整備・運営上の課題を把握

- ・スマートICから目的地(観光名所等)へ向かう場合の案内性、IC周辺の交通への影響等を把握
- ・恒常的スマートIC設置を視野に入れ監視員、誘導員の人員配置等を含む運営上の低コスト化を検討

(2) 経緯

平成16年4月6～23日	国土交通省が候補箇所を募集
平成16年6月18日	全国の実験候補箇所として35箇所を登録と発表
平成16年6月25日	第1回尼御前SAスマートIC地区協議会設立準備会
平成16年7月22日	第2回尼御前SAスマートIC地区協議会設立準備会
平成16年9月3日	社会実験実施を国土交通省に申請
平成16年11月11日	尼御前SAスマートIC社会実験 採択
平成17年4月12日	第1回尼御前SAスマートIC地区協議会開催

(3) 実験期間

開始：平成17年6月1日(水)

終了：平成17年8月31日(水)

(4) 対象車種(ETC限定)

軽自動車、普通車、中型車、大型車、特大車 : 上下線共通

* 二輪車及びけん引車両は利用対象外

(5) 実験運用時間

実験期間内の毎日6時から22時までの運用(22時から翌日の6時まで閉鎖)

(6) 実験期間中の通行料金

現在の通行料金の算出方法に従い算出します。

普通車の場合		(通常料金)	《ETC通勤割引 [*] 》
尼御前SAスマートIC	↔	福井IC 1,200円	600円
尼御前SAスマートIC	↔	小松IC 500円	250円

***ETC通勤割引：朝夕の通勤時間帯(6~9時、17~20時)を5割引(大都市を除く)ただし100km以内。**

***料金に関する問い合わせ先：日本道路公団 金沢管理所 TEL 076-249-8111**

(7) 実験終了後の対応

交通量調査や利用者アンケートなどの結果から、尼御前SAにおけるスマートIC設置効果を検証し、公表します。

(ご利用上の注意)

簡易なETC出入口のためスマートICではETCゲートの前で**必ず一旦停止**が必要です。

ご利用にあたっては、ETC車載器に**カードを挿入して通行**して下さい。

ETCカードのみのご利用はできません。

天候や機器の故障など道路管理上必要な場合、予告無しにスマートIC車線を閉鎖する場合がございますのでご了承ください。

【参考】 石川県内のスマートICについて

石川県内では白山市にある徳光PAにおいて、既にスマートICの社会実験を実施中です。

〔徳光PAスマートIC社会実験の概要〕

実験期間及び運用時間

平成17年4月11日(12時)から7月10日(24時)まで 終日運用

対象車種(ETC限定)

*二輪車及びけん引車両は利用対象外

上り(福井方面):軽自動車、普通車、中型車、大型車、特大車

下り(富山方面):軽自動車、普通車

北陸道をくぐる既存の道路に制限があるため(幅4.0m、高さ3.4m)

利用状況

実験開始から5月24日(火)までに合計約27,900台が利用。

・平日の平均利用台数は約690台(半日実施の4月11日を除く)。

・休日の平均利用台数は約520台(ゴールデンウィーク期間中を除く)。